学校・団体

千葉市少年自然の家プログラム　クラフト

# 木の回し絵ゴマ

| | |
|---|---|
| 場所 | クラフト室 |
| 時間 | 1 時間 30 分<br>～2 時間 |
| 値段 | 料金表参照 |
| 季節 | 年間 |
| 人数 | クラフト室　席数 48 |

## プログラムの概要・ねらい

自然の素材を使って回し絵ゴマを作る。
自然の素材を使うことでひとつひとつの木目、香り、手触りなどの違いを感じ、自然との関わりを持つ。
また、ノコギリやボール盤の使い方を覚え、自分だけのオリジナル作品を作ることで、創意工夫する楽しさを体験する。
※ノコギリを使って間伐材（丸太）または丸木材を切る作業あり。

**準備物**

【利　用　者】ぞうきん、新聞紙、活動に適した服装
救急用品、**ポスカ**
【自然の家】材料（間伐材または丸木材、タコ糸）、ドリル刃 3.5mm 万力、マジカルサンダー、ノコギリ、ベルトサンダー、ボール盤、ハサミ

## ①準備

材料とクラフト室倉庫の鍵をサービスセンター受付で受け取る。※材料数を確認する。
窓を開け、部屋の換気を十分に行う。工具の確認をする。

## ②実施の流れ

【時間】

0:00　説明

0:20　材料の間伐材（直径5cm程度）または丸木材を万力に固定し、ノコギリで厚さ1～1.5cm程度に輪切りにする。（写真①）

①

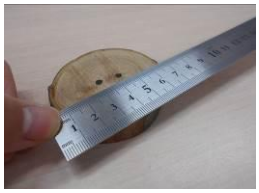
0:40　切った木の切断面をマジカルサンダーでよく磨く。
※マジックテープが付いている面にヤスリを貼付け使用する。
荒削り用→仕上げ用（写真②）

②

1:00　子どもの使用状況により、早く削るためベルトサンダーを使用する。（写真③）
ベルトサンダーを使用する場合は必ず指導者が立ち会い、以下の点に注意する。
※削る際は、機械の横に立って作業をする。
※袖口、ストラップ等の巻き込みに十分注意する。
※1台につき二人同時に作業は行わない。

③

1:10　表面が滑らかになったら、ボール盤で紐を通す穴（サイズ3.5mm）を中央部分に2つ開ける。（両穴の間隔は1cm程度）（写真④⑤）
ボール盤を使用する場合は必ず指導者が立ち会い、以下の点に注意をする。
※穴を開ける位置を確認してから、電源を入れる。
※袖口、ストラップ等の巻き込みに十分注意する。

④


1:30　表面にポスカで絵や文字を書く。
※ポスカを使用する場合は、机の上に新聞紙を敷く。

希望者は裏面に少年自然の家の焼き印を押す。
※焼き印の取り扱いに注意し、やけどに気を付ける。
※焼き印は温まるまでに約15分かかるので、事前にスイッチを入れておく。

⑤

1:50　タコ糸を準備し80～90cmほどにはさみで切る。
タコ糸を木材の穴の中に通し結び目を作る。完成。

2:00　片付け、終了

## ③後片付け

工具等を元へ戻し、電動工具のコンセントを抜く。
雑巾と備え付けの掃除用具を使い、掃除をする。※机と床の水拭きを必ず行う。
（掃除の仕方についてはクラフト室の掲示参照）
工具、部屋等の破損があった場合は、サービスセンター受付へ連絡する。
クラフト室倉庫の鍵、余った材料はサービスセンター受付へ返却する。

2025/03/01 改定